



上尾ロータリークラブ

2024-2025年度R.I.テーマ



THE MAGIC OF ROTARY



2024-2025年度 門崎 由幸会長

第3054回 例会
2025. 4. 3

会長あいさつ

週報 No.2286
発行 2025年 4月 24日

2024-2025年度
会長 門崎 由幸
幹事 齋藤 哲雄
副会長 坂本 忠光
副幹事 大木 崇寛
編集責任者・公共イメージ向上委員会
委員長 丹井 亮一

ゲスト
上尾市環境政策部 環境政策課
課長 大竹英雄 様
ゼロカーボン推進室
推進室長 櫻井 裕 様

オブザーバー
リテア・クレア証券 上尾支店
コンサルティング課 清田樹任 様

行事予定
5月 1日 定款の規定により休会
5月 8日 卓話 子ども未来部
5月15日 卓話 須田悦正 様
「アラブと日本の違い」
5月22日 原田会員 齋藤哲雄 様
「上尾市議会活動について」
5月28日 ダナン病院訪日歓迎会

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。
3月28日に発生したミャンマー大地震では犠牲者が3千人を超え、けが人およそ4500人、行方不明者351人とのことです。こうした中、軍事政権と抵抗勢力との戦いは、救助活動のため3週間停止すると発表されました。水や食料が不足するなど厳しい生活が強いられる中、日本政府はこれまでに医療チームの派遣などを行ってきました。そして本日、人道支援のためおよそ9億円の緊急無償資金協力を行うと表明しました。これに対してネット上では、対外支援の前に国民のために支援をと多くの批判コメントが見受けられました。すべてを一緒くたにしてしまうこの様な考え方を持ってしまう恐れがあるのかなと思います。助けを求めている人がいるのであれば支援は必要で、全てにおいて解決支援していかなければならない課題が多いと考えます。また支援をするなら内容の報告も大切だと思います。9億円が本当にミャンマー国民のために使われたのか確認報告が必須です。しっかりと確認報告されていると思いましたが、そのような報告が少ないのか、しないのかであろうと思います。私の経験をお伝えすると、青年会議所においてフィリピンに公園を造りに行ったことがあり、ストリートチルドレンとの交流など様々な経験をしました。その中で1カ月に1万円の支援で数人の子どもたちが教育を受けられるとのことで、教年寄付を行っていたことがあります。しかしその寄付の1万円は子どもたちのために使われていませんでした。この経験からも、支援するだけではなく、その後の確認報告が必要だと考えます。
また様々な詐欺被害が多くなり私も水関係で相談を受けたことがあります。一人暮らしの父が認知症で対応ができない中、悪徳な業者が来てトイレの配管を壊してしまっていて、修繕の見積もりをしてくれないかというものでした。破損箇所には砂利が混ざり修繕は困難で、結果的に高額な費用がかかってしまったことがあります。詐欺被害では警察や公的機関の協力が必要なことはもちろんで、もし私のもとに相談が来たら、できる限りの対応をしたいと思っています。
それと昨日、桶川飛行学校平和記念館に行ってきました。詳細は追ってお伝えします。本日もよろしくお願いたします。



幹事報告

齋藤 哲雄 幹事

◇4月のロータリーレートは1ドル=150円です。
◇4月16日(水)17時から地区の会長会議が地区事務所で開催予定です、門崎会長が参加します。



例会主題

ごみ減量と今後の分別

上尾市環境政策部 環境政策課 課長 大竹英雄 様

環境政策課は、自然保護などの環境全般を所管するほか、上尾伊奈斎場つつじ苑の管理運営や、令和15年度に移働開始を目指している上尾・伊奈広域ごみ処理施設の整備にも携わっています。また上尾市が地球温暖化対策に取り組むために、昨年4月、課内にゼロカーボン推進室を設置しました。本日は環境全般のお話しとして前半に「ごみ減量と今後の分別」を、後半に「上尾市の脱炭素施策」のそれぞれをお話しさせていただきます。
それではごみ処理の現状をお話しします。令和5年度のデータですが、可燃ごみ総量は4万8千トン、市民一人当たり1日573グラムのごみが出されていることになります。処理費用は年間で3億2千万円で、市民一人当たり年間14,426円になります。ごみの内訳は、紙布類が4.4%、ビニール・合成樹脂・ゴム類が3.1%と、この2つで可燃ごみの75%を占めています。
可燃ごみの減量では、雑紙をいかにリサイクルに回していただくか、またビニール・合成樹脂といった石油製品を再資源化するか、さらに生ごみの水分をいかに減らすかがポイントと考えています。可燃物・紙類の収集量の推移をみると、可燃物は年々減少傾向にあり、紙類は増加傾向にあります。これは市民の皆さまが、徐々にごみ減量やリサイクルを意識していただき行動を起こしていただいているものと分析しています。



ごみ減量の取組について、可燃ごみの処理工程を簡単に説明すると、各地域の集積場に出されたごみは、収集車で西貝塚環境センターへ運搬され、焼却されます。焼却されたごみは最終的に灰となり、一部はセメントなどに再利用されますが、多くは最終処分場のある埋立地へと送られています。上尾市の灰は、寄居町、福島県小野町、山形県米沢市へと送られています。

ごみ処理の過程ではさまざまな問題・課題があり、これらがごみ減量に直結する理由となっています。大きな問題の1点目は、運搬やごみ焼却に伴うCO2など温室効果ガスの発生です。温室効果ガスを削減し、環境への負荷を軽減することが、未来に地球環境を引き継いでいくための課題であると考えています。問題2点目は、年々増加するごみ処理費用です。問題3点目は焼却灰の最終処理についてです。限りある埋立地の限界が近づいています。寄居町ではおよそ30年程度で満杯になると見込まれています。少しでも理め立て量を減らして将来世代の負担を軽減することは、私たちの責務であると考えています。

上尾市ではごみ減量のために4つの「R」を推奨しています。★Redeuse (リデュース) ~ごみをださない~、★Refuse (リフューズ) ~不要なものを買わない~、★Reuse (リユース) ~繰り返し使う~、★Recycle (リサイクル) ~資源として再生利用する~です。ごみ減量に近道はありません。少しでも市民の皆さまがごみや環境に興味を持っていただいて、意識を上げていただくことが最も確実な効果を上げるものと考えています。

今後の分別についてです。分別へ至った経緯ですが、令和4年3月に上尾・伊奈広域ごみ処理基本計画を策定し、すでに伊奈町が行っているプラスチック製容器包装の資源化を決定しました。その直後に国がプラスチック資源循環促進法を施行し、プラスチック製容器包装に加えて、プラスチック製品の資源化が市町村に努力義務として課されました。石油などの化石燃料を原料とした、すべてのプラスチックを資源化するという内容です。さらにはこの取組が新たなごみ処理施設を建設する際に、国の交付金の交付要件になっています。ごみ処理施設は令和15年の稼働開始を目指していますが、新たなごみ分別へのスケジュールは検討中です。

ごみの分別や資源化は待たなしの状況です。今



の環境を未来の子どもたちに引き継ぐためにも、絶対に必要なことと考えています。これから時間をかけて市民の皆さまに丁寧に説明を行い、ご理解をいただいでいく予定です。上尾ロータリークラブの皆さまにも引き続きお力添えをお願い申し上げます。

上尾市の脱炭素施策

ゼロカーボン推進室 推進室長 櫻井 裕 様

私からは上尾市の脱炭素施策についてお話しさせていただきます。まず地球温暖化対策ということで、現在、地球の平均気温がかなり上昇している状況にあります。こんなに暑くなってしまった原因は、主に温室効果ガスのうち、二酸化炭素が増えたことによります。二酸化炭素は主に火力発電によって、石炭や石油を燃やすことにより発生しています。二酸化炭素を減らすには、基本的には電力を減らすことになります。
世界では2015年にパリ協定が採択され、世界共通の目標として平均気温を2℃以上上げない、さらには1.5℃に抑える努力をするを掲げています。日本政府も2020年にカーボンニュートラルを宣言し、2050年までにCO2排出を実質0にするとしました。上尾市も世界情勢を鑑みて、令和3年(2021年)7月にゼロカーボンシティ宣言をしました。2024年12月17日時点で、上尾市を含め全国1127自治体が宣言を行っています。自治体は全国に1741ありますので、およそ65%の自治体が宣言をしています。これから持続可能な社会、ゼロカーボンシティの実現に向けて、市民・事業者・行政で手をとり合い、それぞれの特性を活かしながらスピード感を持って様々な取組を進めていきたいと考えています。



出量の相殺、住宅断熱改修の推進等を行っています。

市民の皆さま向けには奨励金を交付しています。効果がいちばん高いのは、太陽光発電システムの設置です。上限9万円で、前年度は169件を交付しました。家庭用蓄電池システム、電気自動車などの奨励金もあります。また住宅断熱改修奨励金10万円も前年度新たに設置しました。国では最大200万円の補助があり、それに上乗せしての奨励金ですので、かなりの補助になります。

事業者の方むけには今年度から新たに補助金を交付することになりました。事業者向け太陽光発電設備設置補助金は上限125万円です。5月1日以降、申請の受付開始します。またLED照明と高効率空調設備といった省エネ設備等設置補助金も新設しました。事業者の方からは「環境に人員を確保できない」や「何から始めたらいいかわからない」といった声を聞きますので、エネルギーの使用量の見える化を行い、まずは「知る」ということから始めていただき、エネルギーの使用量を測り、そして削減に取り組んでいただきたいと思います。埼玉県省エネ診断事業では「ナビ診断」と「専門診断」があり、どちらも無料ですのでぜひ活用いただきたいと思います。さらに「エコアクション21」という認証制度もあります。ISO14001の簡易版、手軽にできるものとして、専門家のフォローも付きますので活用していただければと思います。エコアクション21の認証取得では、環境への取組を推進し、第三者が適切な指導・助言を行うとともに、環境省が策定したガイドラインへの適合性を認めることにより、社会的な評価や信用を得られるようになるというメリットがあります。エコアクション21の取得認証では費用がかかりますが、長い目で見ると事業所のコストカットができますので、ぜひ今後、ご活用のご検討をお願いいたします。

それ以外の取組として、上尾市環境推進協議会への入会を推進したり、カーボンオフセット事業を行っています。皆さまどうか、ご協力のほどお願いいたします。

本日はありがとうございます。



スマイル

環境政策課 大竹課長様、ゼロカーボン推進室 櫻井室長様、卓話いただきありがとうございました。

樋口会員 娘が無事に大学を卒業し、昨日、2つ目の大学に入学しました。まだまだお金がかかります・・・
長沼会員 4月5日～、北上尾駅 駅からハイキングが開催されます。桜満開、春爛漫の上尾を満喫しましょう。
門崎会長/齋藤哲雄幹事/坂本副会長/大木崇寛副幹事/大塚信郎会員/尾花会員/細野会員/大塚崇行会員/深澤会員/須田会員/山崎会員/木田会員/荒井会員/原田会員

出席率	
会員数	33
出席免除	3
出席対象者	30
出席者数	16
53.33%	

第3055回 例会

世界遺産・富岡製糸場へ 親睦日帰りバスツアーに行ってきました

親睦活動委員会の企画のもと、日帰り親睦旅行で世界遺産・富岡製糸場に行ってきました。上野国一宮・貫前(ぬきさき)神社様や、こんにやくパーク、城下町小幡桜並木、国指定名勝・楽山園、めんたいパーク群馬にも立ち寄り、会員間の親睦をいっそう深め、満開の桜が出迎えてくれて、春を満喫するツアーになりました。会員の皆さん、お疲れ様でした!



例会日 毎週木曜日12:30~13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303
例会場 上尾東武ホテル3F(コミュニティホール) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

